新潟産業人クラブ設立30周年

記念式典を開催

設立30周年を迎えた新潟産業人クラブは9月10日、新潟市中央区の新潟グランドホテルで第31回定時総会を開いた。役員改選では副会長にマックス開発の井浦康晴社長、サイトの能登剛史社長が就任した。また同日、内閣官房参与で前財務官の古澤満宏氏による特別講演会と、設立30周年記念パーティを開いた。パーティには来賓として新潟県の泉田裕彦知事らを招き、盛大なものとなった。

特別講演

現下の世界経済と日本

内閣官房参与　古澤　満宏氏

画期的な政策 アベノミクス

安倍晋三政権の経済政策「アベノミクス」は、15年以上続いた日本経済の低迷脱却を狙いに「3本の矢」を放った。大胆な金融政策、機動的な財政政策、成長戦略の三つである。金融では2年間で2%という目的のもとに日銀が量的・質的金融緩和を行い、かなりの程度、成果が上がってきている。財政は昨年度の補正予算、今年度の予算と15カ月予算を一体で組み、なおかつ建設工事などでは予算の前倒し執行で財政刺激が進められている。4月には消費税を引き上げ、財政再建の足がかりとした。

第3の矢は成長戦略。去年の国会で9本、6月に閉じた国会では30本の成長戦略に関する法律を通した。今までにないスピード感だ。今後、かなりの程度、効果が出て来ると確信している。

日本の総理の名前がついた政策で世界の新聞で通用するものは、かつてなかった。「アベノミクス」の政策は日本だけの特殊なものではなく、G20やG7の国でもやらなければいけないと言われていることである。

一つの国の政策として今まで金融・財政・成長戦略を個別にやっていたが、実は3本同時にやらなければいけないということが今、世界で議論されている。それをまさに先取りしてやっているのがアベノミクスだ。

11月に豪州ブリスベンでG20サミットが行なわれ、安倍総理も出席する。G20サミットでは「世界経済をどうやって回復させるか。そのためには金融と財政と成長戦略が重要だ」ということをずっと議論してきた。それを実践して成果を上げつつあるのが日本である。

マーケットの反応

アベノミクスに一番初めに反応したのは市場。安倍政権が誕生した時、平均株価は8946円、1ドルは約80円だった。その後株価は1万5705円、為替は約106円となった。これは誰がどう見ても画期的に変化した、市場が期待したということである。市場に訴えるという戦略が見事に成功した。安倍総理は49カ国を回り、総理自ら経済政策について世界中で説明している。これも今まで例がないと思う。

「総理勉強会」というのがある。例えば「減反は英語でなんというか？生産調整は？」と総理自ら質問される。そしてそれを聞いた後、「よく通訳に言っておいてくれ」と。これだけ日本の政策、しかも自分の名前のついた政策を、外国人も含めて世界の投資家に理解してもらおうと努力している総理もいないと思う。

われわれも同じようにやっているが、まず総理自らがそういうことをやっているということでマーケットが非常にうまく反応した。

アベノミクスが始まったばかりのころ、日本は為替を動かすことによって他の国に負担を負わせて立ち直るつもりかと、世界から非難があった。2月にG7で「為替はターゲットにしていない、介入もしていない。日銀総裁の金融緩和は、あくまでも日本経済をデフレから脱却させるためだ」と説明し、納得してもらった。

なぜ納得してもらえたかというと、欧米も同じように、自国の経済を立ち直らせるために金融緩和をやっている状況があったので、やむを得ないということ。今はむしろアベノミクスが成功することが、日本だけでなく世界経済にとっても利益になる。中国に抜かれたとはいえ、世界第3位の経済大国の経済がしっかりすることが、各国からの輸出が増えるという貿易面でも、日本からの投資という金融面でも、世界経済に良い影響を与えるというコンセンサスを得た。

ドル円の上昇に対してドルインデックスの上げ幅は変わっていなかったが、夏以降は上に上がっている。足元はむしろアメリカの強い経済、好調な数字に引っ張られてドルが高くなり円が安くなっているという状況である。

日本たばこ株売却の事情

私は財務官になる前は理財局長で、職務は日本国債を発行すること、財政投融資を行なうこと、国の資産全てを管理することだった。その中に、政府保有株の管理業務があり、日本たばこの株を売却した。政府保有株を売却することはあまりなく、この次に売るのは日本郵政株でそうとう大きなディールになると思う。日本たばこは6分の1の売却で5千億円の収入を見込んでいた。業績、たばこの価格、たばこ税の動きなどの状況を見ながら判断し、昨年3月に売却した。

私が理財局長になったときは民主党政権で株価が低迷していたため、売却を2回くらい見送った。アベノミクスが始まってこんなに株価が上がるとは、その時は想像していなかった。もうちょっといけるかなと思ったが、国だけが儲けてはいけないというのもあって、その後も株は下がらずだいたい1兆円で売れた。1兆円税収を上げるのは大変なことで、これが全て復興財源に回るから、安倍総理に非常に喜ばれた。

アベノミクスに最初に反応した海外投資家は、15兆円くらい買い越している。これは過去最多。今年になってからは個人投資家が動き、NISA（少額投資非課税制度）が650万口座できて1兆円の投資がなされ、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）改革による資金も株の方に向かっている。

もともと日本は1600兆円もある資産のわずか16%しか株や債権に回っていない。バブル期には33%だった。別に絵空事ではなく今後増える可能性も十分あると思う。今はむしろそういった国内投資家が市場を支えている。実質GDPも回復基調にあり、民間予測機関でも伸びると予測されている。

消費税を上げたことについては、国際通貨基金（IMF）を含めて海外から「よくやった」と非常に評価されている。日本の財政をどうするつもりなんだと長い間言われてきて、ずっと先延ばしにしてきたが、これをちゃんとやったというのは賞賛に値すると評価されている。

構造変化と円安

日本の産業構造が変わり、稼ぎ方が変わったという意味で、円安は日本経済にとってどうなのか考えなければならない。サプライチェーンも変化し、少し円安になったからといって海外での価格を変えてマーケットシェアを奪おうというような動きを、今の企業はしていない。良いものを輸出すれば売れるから安くする必要はなく、資金は国内に持ってきて新たな研究開発なり設備投資なりに使いどんどん技術を高めて、良いものをつくっていこうという動きになっている。

こうした貿易構造はすぐには変わらず、これからも続いていくだろう。経常赤字が続く米国・カナダでも同様で、だからといってすぐ国がパンクすることでもないので、そこを心配するのはミスリードと思う。

世界経済の見通し

世界経済を牽引（けんいん）しているのは米・英で、それに日本も貢献している。米国の景気回復がメーンになっていく。米GDPの7割は個人消費で、その回復は本物だと私は思っている。米国が金利を上げる時期について米連邦準備理事会（FRB）のイエレン議長は「失業率は回復しているが労働参加率をみて判断する」と言っている。日銀はしばらく金融緩和を続けるだろうし、欧州もまさに緩和に大きく舵（かじ）を切り始めている。米は引き締め、日欧が緩和を続ける状況がしばらく続くだろう。

諸外国はここ20年の日本を見て、ああなってはいけないと恐れていた。だがアベノミクスによって、日本のようにならなくてはいけない、と絶対変わる。

（講演より抜粋し要約）

交流広げ 人脈を金脈に

新潟産業人クラブ会長（佐文工業所常務）　佐藤　金治郎氏

当会は昭和58年、新潟県内の中小の製造業が集まり勉強会をつくろうと「新潟県先端技術研究会」という名称で発足いたしました。そして30周年の節目を迎え、日刊工業新聞社が活動を全面支援している全国30カ所の産業人クラブとの交流が増えていることもあり、「新潟産業人クラブ」の名称を前に出すことで決議いたしました。30年続きましたのは皆様の大変深いご理解とご支援の賜物であります。会を代表しまして厚く御礼申し上げます。

当会の一番大きな目的は人脈づくりです。人を紹介いただいたりご指導を受けたりしながら交流を広げ、そこで培った人脈を、この30周年記念式典会場に設置された金塊（レプリカ）のような金脈へと育ててまいります。

そして各企業がますます発展し、雇用と納税によって新潟県の発展に寄与するために進んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

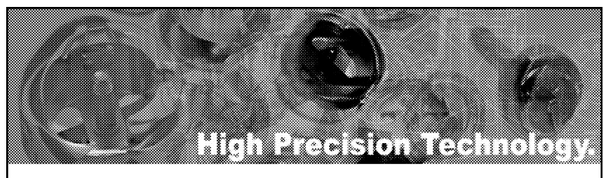
日本経済を引っ張る力

新潟県知事　泉田　裕彦氏

新潟産業人クラブ設立30周年おめでとうございます。先端技術をはじめとした新潟の経済を引っ張ってきていただいたことに深く感謝を申し上げたいと思います。

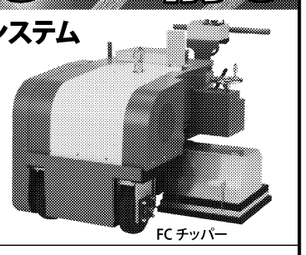
戦後、日本を復興させ世界第2位の経済大国に押し上げた理由の本質は、「人」が生み出す力、社会のニーズに合わせて新しいサービスやモノを提供してきたことだと思います。従いまして皆さんが経済界の最先端で日本経済を引っ張ってこられたことが、今日の日本をつくっていると思います。

新潟県にはすばらしい力を持った企業がたくさんあります。必要は発明の母。世の中の役に立つことは社員の誇り、会社の誇り。これが人脈と情報を集めて、結果として金塊の山に変わってくると思います。新潟産業人クラブが金塊の山となり、新潟県が大きく発展すること、そして皆様方のご健勝を祈念いたしましてお祝いのごあいさつとさせていただきます。



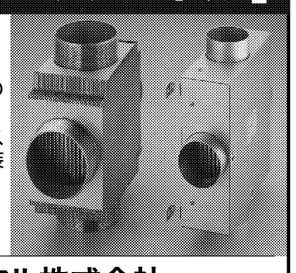
高度な精密加工技術と一貫生産システムでお客様のニーズにお応えします。
工業用ミシン部品・医療機器・各種産業機械部品
株式会社 佐文工業所
http://www.sabun.co.jp/

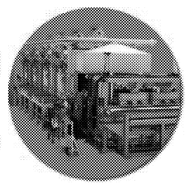
ファーストコールカンパニーを目指して!!
自動車部品・ガラス・光学レンズ・ハウスウエアー・刃物生産、そして航空部品業界までも研磨材料を通じてのお付合い。
全国各地に、石材加工、建築関連によるダイヤモンド工具の60年の納品実績を、これからの時代に即した事業展開に結び付けて参ります。ご用命ください。
≪取り扱い商品≫
各種研磨機械、カッティングマシン、サンドブラスト、電動工具
研削砥石・CBN・研磨布紙・ラッピングフィルム・ダイヤ工具等
株式会社フチオカ
本社　新潟県見附市今町8-9-1　〒954-0111　☎0258-66-0600(大代表)　FAX:0258-66-0601
秋田支店　秋田市泉北4-6-1　〒010-0916　☎018-864-6111　FAX:018-865-4176
札幌営業所　札幌市清田区美しが丘5条9丁目10番20号　〒004-0815　☎011-881-5041　FAX:011-883-5503
FUCHIOKA

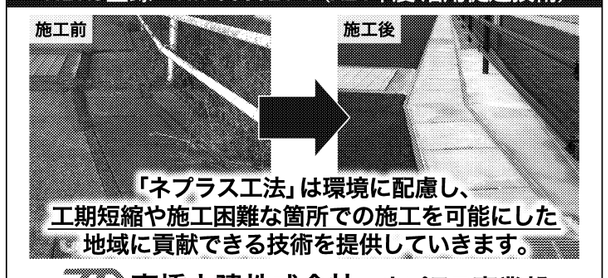
新技術　コンクリート・アスファルト舗装などを
静かに斫る 平らに削る
FC-チッピングマシンシステム
特長
① 極めて平滑な研削面！
② 驚くほどの超低騒音！
③ 難削系材をいとも簡単に！
④ 用途が拡大小型、軽量！

FCチッパー
ヒートロック工業株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル11F TEL 03-3281-1241 FAX 03-3281-1243
〔営業所〕大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌 / 仙台 / 北陸 / 新潟 / 工場研究所

I.M.C 新潟産業人クラブ
（先端技術研究会）
新入会員募集！
新潟市中央区白山浦1-614 日刊工業新聞社 新潟支局内
TEL：025-233-3883　FAX：025-233-6127
http://www.sentan.gr.jp

YAMA LIGHT®
……LED照明のトップブランド
かながわ産業Navi大賞受賞
川崎ものづくりブランド認定／低CO2川崎ブランド認定
山勝電子工業株式会社
YAMAKATSU ELECTRONICS INDUSTRY CO., LTD.
本社：川崎市高津区末長1丁目37番23号
URL：http://www.yamakatsu.co.jp
TEL (044) 866-2411(営業)
FAX (044) 877-0755
横浜工場：TEL (045) 548-5125
拠点
長岡情報センター／新潟開発センター／六日町情報センター／大阪営業所

熱交換器「クロスパイル」
特徴
■軽量でコンパクト設計
■ALLステンレス製で600℃程度の高温でも使用可
■乾燥炉、脱臭装置、燃料電池、ガスタービンのコージェネなど燃焼装置の廃熱回収をお手伝いします。
●フランジ形状、取付方法などご要望にお応えします。

セキサーマル株式会社
〒959-0215　新潟県燕市吉田下中野1447-2
Tel：0256-92-5499　Fax：0256-93-4331
URL　http://www.ash.ne.jp/~thermal/

熱と水と環境を科学するエンジニアリングカンパニー
世界の「ものづくり」を支える工業炉。私たちは熱処理設備を通じて新素材、エネルギーなど新たなるフィールドにイノベーションを生み出し、世の中に貢献し続けます。
We will keep on challenging
For the future.

アドバンエンジ株式会社
http://www.adv-eng.co.jp
〒950-3102 新潟市北区島見町3399-34
TEL：025-255-3300 FAX：025-255-2800

側溝上部改修工法「ネプラス工法」
NETIS登録　HR-060021-V（H24年度 活用促進技術）


「ネプラス工法」は環境に配慮し、工期短縮や施工困難な箇所での施工を可能にした地域に貢献できる技術を提供していきます。
高橋土建株式会社　ネプラス事業部
〒957-0103 新潟県北蒲原郡聖籠町網代浜1001-9
TEL：0254-21-5888　FAX：0254-21-5777　E-mail：tdoken@rose.ocn.ne.jp
ネプラス工法　検索

PRC PRECISION MOLD
液状シリコーン成形用金型
ゴム成型用金型の製造・販売
株式会社 ピーアールシー
代表取締役　伊藤　誠
〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎 778-43
TEL：(025)386-1105
FAX：(025)386-1108
URL http://ncokyoudoukumiai.jp/prc/

日特エンジニアリンググループ
株式会社コイデエンジニアリング

〒959-1112 新潟県三条市安代76 TEL.0256-45-2234 FAX.0256-45-5089

人を、社会を、豊かに結ぶ。
SOHO
双峰通信工業株式会社
代表取締役　樋口　正仁
電話設備　ネットワーク設備
電気工事　ソフトウェア開発
ナースコールシステム　防災設備
太陽光発電システム
他 各種弱電設備

［本社］〒950-0031
新潟市東区船江町1丁目55番11号
☎ 025-275-1211
新潟・長岡・上越・佐渡・埼玉

商業用不動産の開発・運営
株式会社
マックス開発
新潟県新潟市中央区愛宕1丁目4番地15
http://max-k.co.jp